

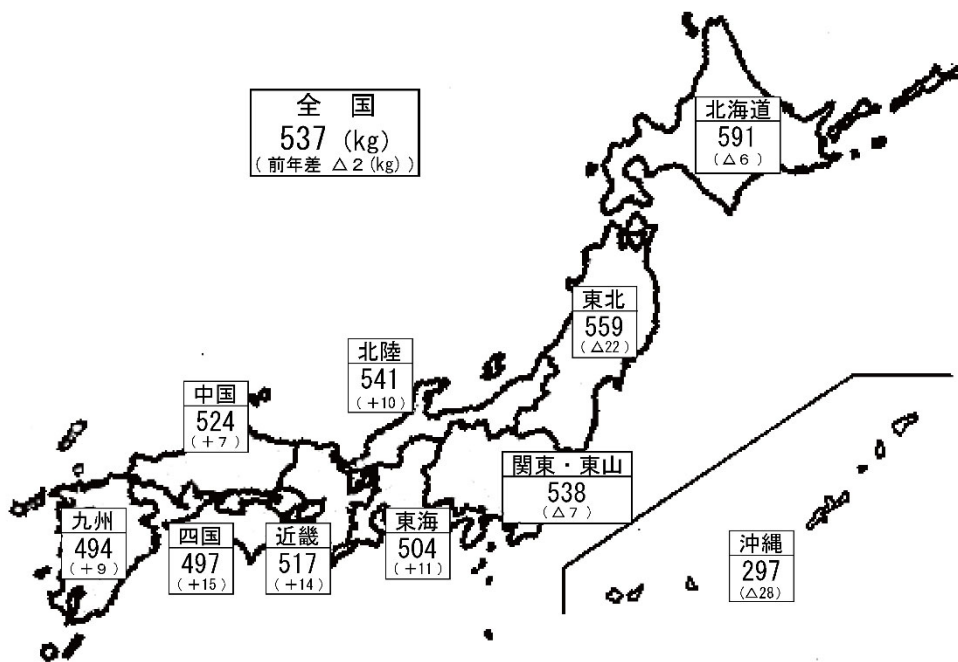
作物統計調査 令和4年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

－ 予想収穫量（主食用）は670万2,000tの見込み －

【調査結果の概要】

- 1 令和4年産水稻の作付面積（子実用）は135万5,000haで、前年産に比べ4万8,000ha減少した。うち主食用作付面積は125万1,000haで、前年産に比べ5万2,000ha減少した。
- 2 全国の10a当たり予想収量は537kgが見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は727万tで、前年産に比べ29万3,000tの減少が見込まれる。このうち、主食用の予想収穫量は670万2,000tで、前年産に比べ30万5,000tの減少が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100となる見込み。

図1 全国農業地域別10a当たり予想収量（10月25日現在）



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

水稻（子実用）の年次別推移（全国）

年産	作付面積 (子実用)	10a当たり 収量	収穫量 (子実用)	主食用 作付面積	収穫量 (主食用)	作況指数
	ha	kg	t	ha	t	
平成14年産	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101
4 (概数値)	1,355,000	537	7,270,000	1,251,000	6,702,000	100

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 10a当たり（予想）収量及び（予想）収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

4 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり（予想）収量の比率であり、平成26年産以前は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm 以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（20 ページ【参考 1】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成29年産	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4 (概数値)	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
平均値	100.0	0.8	1.5	2.0	2.9	15.6	77.2
対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.7	0.7

注：平均値は、直近 5 か年の重量割合の平均である。

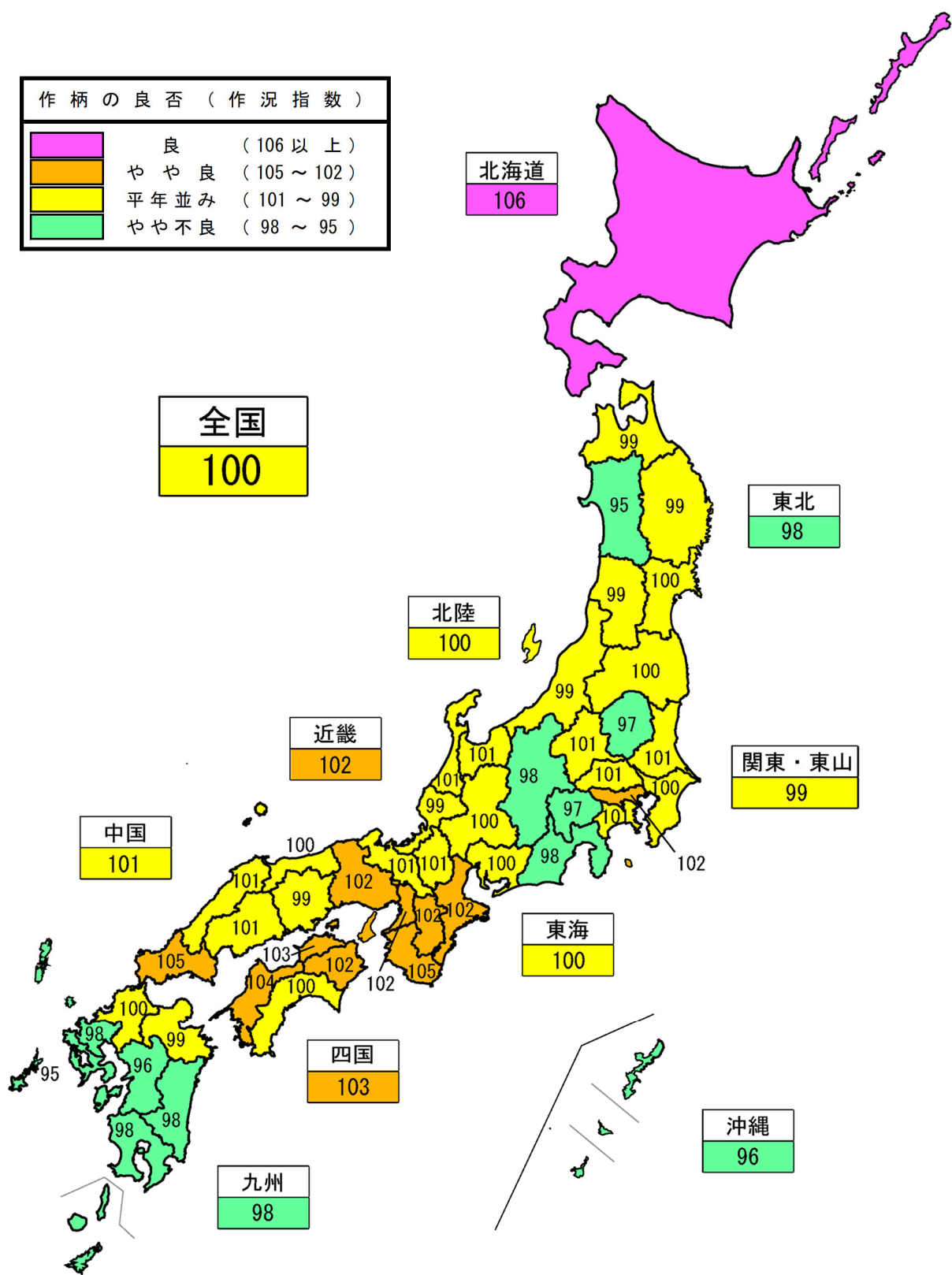
表 2 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
		平成29年産	10a 当たり収量 kg	534	529	521	510
	収穫量 t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10a 当たり収量 kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量 t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10a 当たり収量 kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量 t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10a 当たり収量 kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量 t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10a 当たり収量 kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量 t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4 (概数値)	10a 当たり収量 kg	537	532	524	514	498	418
	収穫量 t	7,270,000	7,205,000	7,096,000	6,957,000	6,747,000	5,663,000
	対前年比 %	96	96	96	96	96	95

注：1 ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり(予想)収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量(子実用)とは、全国の(予想)収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数（10月25日現在）



注：1 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する 10a 当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去 5 か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の 10a 当たり収量と第二期稲の 10a 当たり平年収量の加重平均を用いた。

【調査結果】

- 1 令和4年産水稻の作付面積（子実用）は135万5,000ha（前年産に比べ4万8,000ha減少）となった。
また、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は125万1,000ha（前年産に比べ5万2,000haの減少）となった（表3参照）。
- 2 10月25日現在における水稻の地域別の10a当たり予想収量は、北海道、東海、近畿、中国及び四国においては、田植期以降の天候に恵まれ、全もみ数が平年以上に確保されたことから、北海道は591kg（前年産に比べ6kg減少）、東海は504kg（同11kg増加）、近畿は517kg（同14kg増加）、中国は524kg（同7kg増加）、四国は497kg（同15kg増加）が見込まれる。
一方、6月前半の低温・日照不足や7月中旬の日照不足等の影響により、全もみ数が平年を下回る地域や8月上旬からの大雨と日照不足、9月以降の台風等による影響により登熟が平年を下回る地域があったことから、東北は559kg（前年産に比べ22kg減少）、北陸は541kg（同10kg増加）、関東・東山は538kg（同7kg減少）、九州は494kg（同9kg増加）が見込まれる。
この結果、全国の10a当たり予想収量は537kg（前年産に比べ2kg減少）が見込まれる。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は727万t（前年産に比べ29万3,000t減少）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は、670万2,000t（前年産に比べ30万5,000t減少）が見込まれる（表3参照）。
- 4 10月25日現在におけるふるい目幅別重量分布状況は、全国平均の1.85mm以上の玄米の重量割合は95.7%と見込まれ、直近5か年平均値と同様となっている（表4参照）。

表3 令和4年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 農業地域	作付面積（子実用）			10a当たり予想収量		予想収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ④	予想 収穫量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産 との比較 対 差	実 数 ③=①×②	前年産との比較				
		対 差	対 比				対 差	対 比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,355,000	△ 48,000	97	537	△ 2	7,270,000	△ 293,000	96	1,251,000	6,702,000	100
北 海 道	93,600	△ 2,500	97	591	△ 6	553,200	△ 20,500	96	82,500	487,600	106
東 北	348,300	△ 14,700	96	559	△ 22	1,948,000	△ 162,000	92	308,200	1,723,000	98
北 陸	198,200	△ 3,600	98	541	10	1,072,000	0	100	173,500	938,800	100
関東・東山	240,100	△ 13,000	95	538	△ 7	1,291,000	△ 89,000	94	227,200	1,223,000	99
東 海	87,100	△ 2,500	97	504	11	438,800	△ 2,900	99	85,300	429,900	100
近 畿	96,400	△ 2,900	97	517	14	498,400	△ 1,300	100	92,800	479,500	102
中 国	95,800	△ 3,000	97	524	7	502,200	△ 8,800	98	92,800	486,900	101
四 国	44,600	△ 1,300	97	497	15	221,600	200	100	44,000	218,400	103
九 州	150,100	△ 5,000	97	494	9	741,300	△ 10,700	99	144,400	713,200	98
沖 縄	639	△ 27	96	297	△ 28	1,900	△ 260	88	604	1,790	96

- 注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 4 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。
 6 作況指数は、10a当たり平均収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

表4 ふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

単位：%

全 国 農業地域	区 分	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
全 国	重量割合	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
	平均値	100.0	0.8	1.5	2.0	2.9	15.6	77.2
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.7	0.7
北 海 道	重量割合	100.0	0.7	1.0	1.2	1.9	10.4	84.8
	平均値	100.0	0.6	0.9	1.2	1.9	10.5	84.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1
東 北	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.5	2.4	13.9	80.3
	平均値	100.0	0.6	1.2	1.6	2.5	13.8	80.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.1	0.0
北 陸	重量割合	100.0	0.9	1.2	1.4	2.6	13.1	80.8
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.7	2.7	14.8	78.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.0	△ 0.3	△ 0.1	△ 1.7	1.9
関東・東山	重量割合	100.0	1.0	1.5	2.1	3.5	19.3	72.6
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.1	3.3	19.2	73.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	△ 0.4
東 海	重量割合	100.0	0.9	1.3	1.6	2.2	8.4	85.6
	平均値	100.0	0.8	1.3	2.0	2.5	12.8	80.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	△ 0.4	△ 0.3	△ 4.4	5.0
近 畿	重量割合	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	12.7	80.1
	平均値	100.0	0.9	1.6	2.0	2.8	14.3	78.4
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.1	△ 1.6	1.7
中 国	重量割合	100.0	0.9	1.6	2.1	2.7	13.5	79.2
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.1	2.8	14.1	78.6
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.6	0.6
四 国	重量割合	100.0	1.2	1.9	2.6	3.6	16.6	74.1
	平均値	100.0	1.2	2.0	2.6	3.5	17.6	73.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	△ 1.0	1.0
九 州	重量割合	100.0	1.4	2.8	3.3	4.9	21.7	65.9
	平均値	100.0	1.4	2.6	3.4	4.9	22.6	65.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.2	△ 0.1	0.0	△ 0.9	0.8

注：1 平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

2 ふるい目幅別重量分布状況は、10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

表5 ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）（10月25日現在）

全 国 農業地域	区 分	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
			全 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	537 7,270,000	532 7,205,000	524 7,096,000
北 海 道	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	591 553,200	587 549,300	581 543,800	574 537,200	563 526,600	501 469,100
東 北	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	559 1,948,000	555 1,934,000	548 1,911,000	540 1,882,000	527 1,835,000	449 1,564,000
北 陸	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	541 1,072,000	536 1,062,000	530 1,049,000	522 1,034,000	508 1,007,000	437 866,200
関東・東山	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	538 1,291,000	533 1,278,000	525 1,259,000	513 1,232,000	494 1,186,000	391 937,300
東 海	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	504 438,800	499 434,900	493 429,100	485 422,100	474 412,500	431 375,600
近 畿	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	517 498,400	512 493,900	505 486,400	495 477,000	480 462,500	414 399,200
中 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	524 502,200	519 497,700	511 489,600	500 479,100	486 465,500	415 397,700
四 国	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	497 221,600	491 218,900	482 214,700	469 209,000	451 201,000	368 164,200
九 州	10a 当たり収量 収穫量(子実用)	kg t	494 741,300	487 730,900	473 710,200	457 685,700	433 649,400	326 488,500

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10a 当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

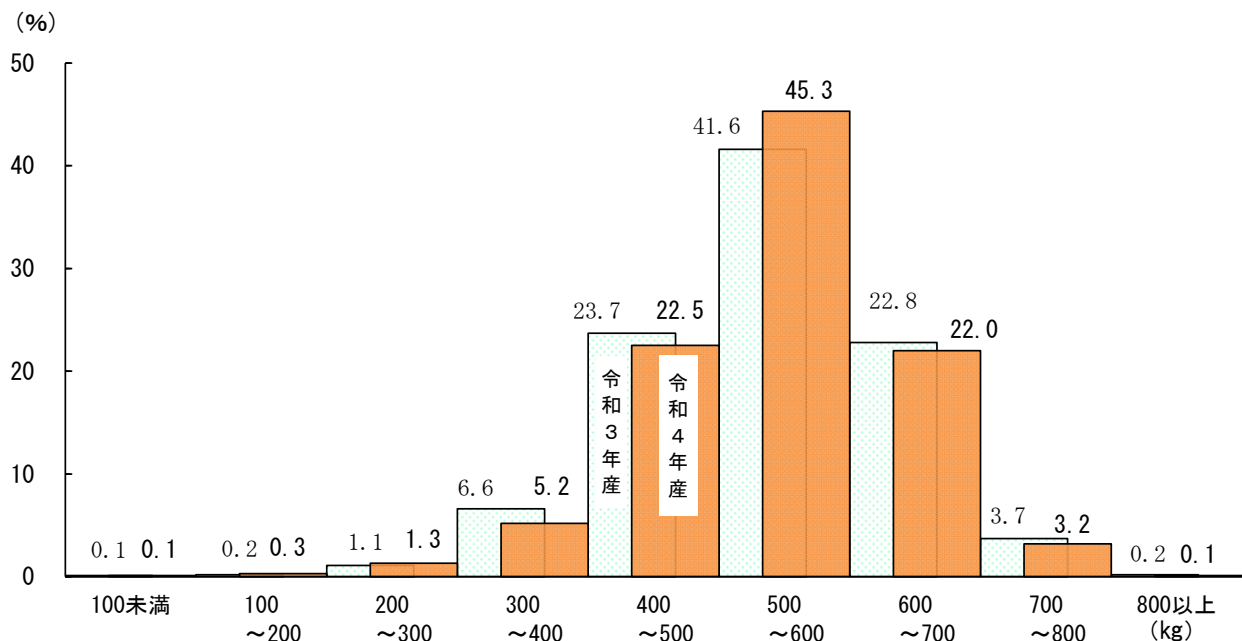
2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表6 令和4年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）

		単位：%										
全 国 農業地域	区 分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上	
全 国	筆数割合	100.0	0.1	0.3	1.3	5.2	22.5	45.3	22.0	3.2	0.1	
	前 年 値	100.0	0.1	0.2	1.1	6.6	23.7	41.6	22.8	3.7	0.2	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	0.2	△ 1.4	△ 1.2	3.7	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.1	
北 海 道	筆数割合	100.0	0.2	-	0.2	1.5	9.8	38.5	41.8	8.0	-	
	前 年 値	100.0	0.2	-	0.2	1.2	7.5	33.7	50.7	6.3	0.2	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	-	0.0	0.3	2.3	4.8	△ 8.9	1.7	△ 0.2	
東 北	筆数割合	100.0	-	0.2	0.8	2.8	14.0	44.5	31.6	5.9	0.2	
	前 年 値	100.0	-	0.2	0.8	3.1	12.5	34.3	37.8	10.4	0.9	
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.0	0.0	△ 0.3	1.5	10.2	△ 6.2	△ 4.5	△ 0.7	
北 陸	筆数割合	100.0	0.1	0.2	0.8	3.9	18.8	51.5	23.4	1.3	-	
	前 年 値	100.0	-	0.2	0.6	4.2	22.6	49.0	21.8	1.6	-	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.2	△ 0.3	△ 3.8	2.5	1.6	△ 0.3	-	
関東・東山	筆数割合	100.0	-	0.2	0.5	4.1	21.1	46.7	21.9	4.9	0.6	
	前 年 値	100.0	-	0.1	0.4	5.0	18.6	45.2	26.6	3.9	0.2	
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.1	0.1	△ 0.9	2.5	1.5	△ 4.7	1.0	0.4	
東 海	筆数割合	100.0	-	0.4	1.2	6.5	28.0	50.0	13.6	0.3	-	
	前 年 値	100.0	-	0.1	1.9	10.1	31.8	44.9	10.6	0.5	0.1	
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.3	△ 0.7	△ 3.6	△ 3.8	5.1	3.0	△ 0.2	△ 0.1	
近 畿	筆数割合	100.0	0.1	0.4	1.8	7.0	24.8	44.9	18.8	2.2	-	
	前 年 値	100.0	0.4	0.1	1.8	7.7	29.5	46.6	13.1	0.8	-	
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.3	0.3	0.0	△ 0.7	△ 4.7	△ 1.7	5.7	1.4	-	
中 国	筆数割合	100.0	0.3	0.5	2.1	6.1	21.8	44.4	22.0	2.7	0.1	
	前 年 値	100.0	0.1	1.1	1.3	7.9	25.2	42.8	18.7	2.9	-	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	△ 0.6	0.8	△ 1.8	△ 3.4	1.6	3.3	△ 0.2	0.1	
四 国	筆数割合	100.0	0.2	0.3	3.3	9.7	33.3	40.0	11.5	1.5	0.2	
	前 年 値	100.0	0.3	0.5	2.6	13.8	35.6	35.1	11.1	0.8	0.2	
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.7	△ 4.1	△ 2.3	4.9	0.4	0.7	0.0	
九 州	筆数割合	100.0	0.4	0.5	2.2	7.7	34.5	43.8	10.6	0.3	-	
	前 年 値	100.0	0.4	0.1	1.7	10.6	37.3	41.4	8.2	0.3	-	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.4	0.5	△ 2.9	△ 2.8	2.4	2.4	0.0	-	

- 注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。
 3 沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図3 令和4年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月25日現在、全国）



【統計表】

統計表一覧

ページ

- 1 令和4年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量 …… 10
- 2 令和4年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在） …… 12
- 3 令和4年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月25日現在） …… 14
- 4 令和4年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月25日現在） …… 15
- 5 令和4年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月25日現在） …… 16
- 6 令和4年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在） …… 17
- 7 令和4年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月25日現在） …… 19

利用上の注意

- 1 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7桁以上 (100万)	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		3桁	2桁		1桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
 - 「0」、「0.0」：増減がないもの
 - 「-」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和4年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

1 令和4年産水稲の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 都道府県	作付面積（子実用）			10 a 当たり 予想収量 ②	農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も多い 使用割合 の目幅 ③	10 a 当たり 予想収量 ④	10 a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,355,000	△ 48,000	97	537	...	511	512	100
北 海 道 (2)	93,600	△ 2,500	97	591	1.90	563	530	106
青 森 (3)	39,600	△ 2,100	95	594	1.90	567	575	99
岩 手 (4)	46,100	△ 2,300	95	537	1.90	508	514	99
宮 城 (5)	60,800	△ 3,800	94	537	1.90	511	512	100
秋 田 (6)	82,400	△ 2,400	97	554	1.90	517	543	95
山 形 (7)	61,500	△ 1,400	98	594	1.90	560	566	99
福 島 (8)	57,800	△ 2,700	96	549	1.85	530	532	100
茨 城 (9)	60,000	△ 3,500	94	532	1.85	509	505	101
栃 木 (10)	50,800	△ 4,000	93	532	1.85	497	515	97
群 馬 (11)	14,400	△ 500	97	503	1.80	486	482	101
埼 玉 (12)	28,600	△ 1,400	95	498	1.80	484	479	101
千 葉 (13)	47,700	△ 2,900	94	544	1.80	535	533	100
東 京 (14)	115	△ 5	96	421	1.80	412	403	102
神 奈 川 (15)	2,880	△ 40	99	501	1.80	481	476	101
新 潟 (16)	116,000	△ 1,200	99	544	1.85	525	528	99
富 山 (17)	35,500	△ 800	98	556	1.90	523	520	101
石 川 (18)	23,100	△ 700	97	532	1.85	515	509	101
福 井 (19)	23,500	△ 1,000	96	515	1.90	481	484	99
山 梨 (20)	4,790	△ 60	99	532	1.80	518	532	97
長 野 (21)	30,800	△ 700	98	608	1.85	589	599	98
岐 阜 (22)	20,700	△ 900	96	487	1.80	476	475	100
静 岡 (23)	15,000	△ 300	98	509	1.80	501	511	98
愛 知 (24)	25,900	△ 500	98	505	1.85	488	490	100
三 重 (25)	25,600	△ 700	97	511	1.85	489	478	102
滋 賀 (26)	29,000	△ 1,100	96	523	1.90	487	483	101
京 都 (27)	14,000	△ 200	99	514	1.85	497	492	101
大 阪 (28)	4,540	△ 80	98	503	1.80	489	478	102
兵 庫 (29)	34,500	△ 1,300	96	513	1.85	487	477	102
奈 良 (30)	8,410	△ 30	100	522	1.80	512	500	102
和 歌 山 (31)	5,980	△ 120	98	519	1.80	511	485	105
鳥 取 (32)	12,100	△ 500	96	514	1.85	494	495	100
島 根 (33)	16,400	△ 400	98	519	1.90	485	482	101
岡 山 (34)	28,100	△ 700	98	526	1.85	496	500	99
広 島 (35)	21,600	△ 600	97	530	1.85	511	508	101
山 口 (36)	17,600	△ 800	96	526	1.85	502	480	105
徳 島 (37)	9,910	△ 390	96	480	1.80	469	462	102
早期栽培 (38)	3,780	△ 150	96	473	1.80	463	453	102
普通栽培 (39)	6,120	△ 280	96	485	1.80	473	467	101
香 川 (40)	10,900	△ 400	96	511	1.80	493	478	103
愛 媛 (41)	13,100	△ 100	99	524	1.85	489	468	104
高 知 (42)	10,800	△ 200	98	460	1.80	447	446	100
早期栽培 (43)	6,010	△ 180	97	488	1.80	476	471	101
普通栽培 (44)	4,750	△ 100	98	425	1.80	412	414	100
福 岡 (45)	33,400	△ 1,200	97	491	1.85	456	456	100
佐 賀 (46)	22,800	△ 500	98	514	1.85	479	487	98
長 崎 (47)	10,400	△ 400	96	470	1.80	442	466	95
熊 本 (48)	31,300	△ 1,000	97	501	1.85	461	479	96
大 分 (49)	18,900	△ 700	96	493	1.80	469	476	99
宮 崎 (50)	15,400	△ 500	97	488	1.80	474	482	98
早期栽培 (51)	5,740	△ 330	95	502	1.80	490	470	104
普通栽培 (52)	9,620	△ 180	98	480	1.80	465	490	95
鹿 児 島 (53)	18,000	△ 600	97	478	1.80	460	470	98
早期栽培 (54)	4,250	△ 130	97	465	1.80	453	448	101
普通栽培 (55)	13,800	△ 400	97	482	1.80	463	477	97
沖 縄 (56)	639	△ 27	96	297	1.80	289	301	96
第一期稲 (57)	471	△ 10	98	343	1.80	337	357	94
第二期稲 (58)	168	△ 17	91	...	1.80	...	155	...

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
 2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 3 ④10 a 当たり予想収量、⑤10 a 当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

予想収穫量（子実用）			主食用 作付面積 ⑧	予想収穫量 （主食用） ⑨=⑧×②	
実数 ⑦=①×②	前年産との比較				
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,270,000	△ 293,000	96	1,251,000	6,702,000	(1)
553,200	△ 20,500	96	82,500	487,600	(2)
235,200	△ 21,700	92	33,900	201,400	(3)
247,600	△ 21,000	92	43,700	234,700	(4)
326,500	△ 26,900	92	57,000	306,100	(5)
456,500	△ 44,700	91	69,100	382,800	(6)
365,300	△ 28,500	93	52,700	313,000	(7)
317,300	△ 18,500	94	51,900	284,900	(8)
319,200	△ 25,600	93	58,300	310,200	(9)
270,300	△ 30,600	90	46,100	245,300	(10)
72,400	△ 900	99	12,400	62,400	(11)
142,400	△ 10,000	93	27,400	136,500	(12)
259,500	△ 18,300	93	45,500	247,500	(13)
484	△ 2	100	115	484	(14)
14,400	0	100	2,880	14,400	(15)
631,000	11,000	102	99,900	543,500	(16)
197,400	△ 2,600	99	31,300	174,000	(17)
122,900	△ 2,500	98	20,700	110,100	(18)
121,000	△ 5,200	96	21,600	111,200	(19)
25,500	△ 300	99	4,690	25,000	(20)
187,300	△ 2,600	99	29,800	181,200	(21)
100,800	△ 2,400	98	20,000	97,400	(22)
76,400	△ 1,000	99	15,000	76,400	(23)
130,800	△ 100	100	25,200	127,300	(24)
130,800	600	100	25,200	128,800	(25)
151,700	△ 4,500	97	27,700	144,900	(26)
72,000	400	101	13,400	68,900	(27)
22,800	200	101	4,540	22,800	(28)
177,000	1,200	101	32,800	168,300	(29)
43,900	700	102	8,350	43,600	(30)
31,000	700	102	5,980	31,000	(31)
62,200	△ 1,400	98	12,000	61,700	(32)
85,100	△ 2,400	97	16,100	83,600	(33)
147,800	△ 3,100	98	27,100	142,500	(34)
114,500	△ 1,400	99	21,100	111,800	(35)
92,600	△ 500	99	16,600	87,300	(36)
47,600	△ 300	99	9,640	46,300	(37)
17,900	0	100	(38)
29,700	△ 500	98	(39)
55,700	△ 900	98	10,800	55,200	(40)
68,600	1,300	102	13,000	68,100	(41)
49,700	100	100	10,600	48,800	(42)
29,300	△ 100	100	(43)
20,200	△ 200	99	(44)
164,000	300	100	32,800	161,000	(45)
117,200	△ 1,600	99	22,300	114,600	(46)
48,900	△ 1,900	96	10,400	48,900	(47)
156,800	500	100	30,200	151,300	(48)
93,200	△ 2,300	98	18,800	92,700	(49)
75,200	△ 2,600	97	13,400	65,400	(50)
28,800	△ 400	99	(51)
46,200	△ 2,300	95	(52)
86,000	△ 3,100	97	16,600	79,300	(53)
19,800	△ 400	98	(54)
66,500	△ 2,400	97	(55)
1,900	△ 260	88	604	1,790	(56)
1,620	△ 90	95	(57)
...	(58)

- 4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。
- 5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平均収量の加重平均を用いた。

2 令和4年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月25日現在）

全 国 ・ 都道府県	ふるい目幅別重量分布状況						
	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
	%	%	%	%	%	%	%
全 国 (1)	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
北 海 道 (2)	100.0	0.7	1.0	1.2	1.9	10.4	84.8
青 森 (3)	100.0	0.6	1.0	1.3	1.7	10.3	85.1
岩 手 (4)	100.0	0.8	1.2	1.4	2.0	12.4	82.2
宮 城 (5)	100.0	0.5	1.1	1.3	2.0	14.2	80.9
秋 田 (6)	100.0	0.9	1.4	1.6	2.8	14.8	78.5
山 形 (7)	100.0	0.6	1.2	1.4	2.6	15.7	78.5
福 島 (8)	100.0	0.5	1.3	1.7	3.0	14.2	79.3
茨 城 (9)	100.0	1.0	1.4	1.9	3.8	19.0	72.9
栃 木 (10)	100.0	1.3	2.0	3.2	4.5	27.0	62.0
群 馬 (11)	…	…	…	…	…	…	…
埼 玉 (12)	100.0	1.2	1.7	2.7	4.2	24.3	65.9
千 葉 (13)	100.0	0.7	1.0	1.4	2.6	14.0	80.3
東 京 (14)	100.0	0.8	1.3	2.4	3.6	22.3	69.6
神 奈 川 (15)	100.0	1.4	2.5	2.9	4.4	24.3	64.5
新 潟 (16)	100.0	0.9	1.2	1.4	2.7	12.7	81.1
富 山 (17)	100.0	0.8	1.2	1.6	2.4	13.2	80.8
石 川 (18)	100.0	0.7	1.1	1.4	2.4	12.7	81.7
福 井 (19)	100.0	0.9	1.3	1.5	2.9	14.9	78.5
山 梨 (20)	100.0	1.0	1.6	1.7	3.0	14.6	78.1
長 野 (21)	100.0	0.8	1.2	1.2	2.1	12.1	82.6
岐 阜 (22)	…	…	…	…	…	…	…
静 岡 (23)	100.0	0.6	1.0	1.3	2.3	11.1	83.7
愛 知 (24)	100.0	0.8	1.2	1.4	2.1	7.3	87.2
三 重 (25)	100.0	1.0	1.5	1.9	2.1	7.7	85.8
滋 賀 (26)	100.0	0.9	1.4	1.9	2.7	11.1	82.0
京 都 (27)	100.0	0.7	1.1	1.5	2.6	10.6	83.5
大 阪 (28)	100.0	1.0	1.7	2.9	3.5	16.0	74.9
兵 庫 (29)	100.0	1.0	1.9	2.1	3.4	15.5	76.1
奈 良 (30)	100.0	0.7	1.2	1.9	2.8	12.0	81.4
和 歌 山 (31)	100.0	0.6	1.0	1.3	1.5	7.8	87.8
鳥 取 (32)	100.0	0.8	1.5	1.6	2.4	11.6	82.1
島 根 (33)	100.0	0.9	1.4	2.1	2.1	13.6	79.9
岡 山 (34)	100.0	1.1	2.0	2.6	3.6	16.1	74.6
広 島 (35)	100.0	0.7	1.3	1.6	2.1	11.5	82.8
山 口 (36)	100.0	1.0	1.6	2.0	2.8	13.2	79.4
徳 島 (37)	100.0	0.9	1.4	1.9	2.5	11.9	81.4
早 期 栽 培 (38)	100.0	0.8	1.3	1.7	2.4	12.2	81.6
普 通 栽 培 (39)	100.0	0.9	1.5	2.1	2.5	11.7	81.3
香 川 (40)	100.0	1.4	2.1	3.3	4.3	22.1	66.8
愛 媛 (41)	100.0	1.4	2.3	2.9	4.5	18.9	70.0
高 知 (42)	100.0	1.1	1.7	1.9	2.8	11.7	80.8
早 期 栽 培 (43)	100.0	1.0	1.5	1.7	2.5	11.0	82.3
普 通 栽 培 (44)	100.0	1.2	1.9	2.3	3.2	12.8	78.6
福 岡 (45)	100.0	1.3	2.8	3.1	4.1	19.4	69.3
佐 賀 (46)	100.0	1.5	2.6	2.8	4.5	20.5	68.1
長 崎 (47)	100.0	2.0	4.0	4.5	7.7	28.1	53.7
熊 本 (48)	100.0	1.5	3.2	3.2	5.3	23.2	63.6
大 分 (49)	100.0	1.7	3.1	3.9	5.8	24.9	60.6
宮 崎 (50)	100.0	0.9	2.0	2.5	3.4	17.1	74.1
早 期 栽 培 (51)	100.0	0.8	1.6	1.8	2.4	13.2	80.2
普 通 栽 培 (52)	100.0	1.0	2.2	2.9	4.0	19.6	70.3
鹿 児 島 (53)	100.0	1.3	2.4	3.7	4.6	21.8	66.2
早 期 栽 培 (54)	100.0	0.8	1.7	2.5	3.4	20.3	71.3
普 通 栽 培 (55)	100.0	1.4	2.6	4.0	5.0	22.2	64.8
沖 縄 (56)	…	…	…	…	…	…	…

注：1 ふるい目幅別重量分布状況は、10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆等のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある（以下同じ。）。

2 10月25日現在で、各都道府県において設置された作況標本筆等のおおむね80%以上でデータが得られた都道府県について調査結果を表章しており、それに満たない都道府県については「…」で示した（以下同じ。）。

対平均差							
1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上		
ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント	ポ イ ント		
0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.7	0.7	(1)	
0.1	0.1	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	(2)	
0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 1.0	1.3	(3)	
0.2	0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.5	△ 0.6	(4)	
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.6	△ 1.5	2.8	(5)	
0.3	0.1	△ 0.3	0.1	1.3	△ 1.5	(6)	
0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.4	0.0	0.4	(7)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.5	0.7	△ 1.0	(8)	
0.1	△ 0.1	0.2	0.6	0.7	△ 1.5	(9)	
0.3	0.5	0.7	1.1	5.1	△ 7.7	(10)	
...	(11)	
0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.2	1.7	(12)	
△ 0.2	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 3.1	4.4	(13)	
△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.2	2.6	△ 1.3	(14)	
0.0	0.2	0.1	△ 0.3	2.6	△ 2.6	(15)	
0.2	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.1	△ 3.0	3.4	(16)	
0.3	0.1	0.3	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.2	(17)	
0.1	0.1	0.1	0.2	0.8	△ 1.3	(18)	
0.0	△ 0.2	△ 0.4	0.0	△ 0.2	0.8	(19)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.6	△ 2.7	3.9	(20)	
0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.4	0.6	(21)	
...	(22)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.5	△ 4.7	6.1	(23)	
0.1	0.0	△ 0.4	△ 0.6	△ 4.8	5.7	(24)	
0.1	0.0	△ 0.4	△ 0.2	△ 4.5	5.0	(25)	
0.0	0.0	0.1	0.3	△ 2.3	1.9	(26)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.3	△ 0.4	0.3	(27)	
△ 0.3	△ 0.6	△ 1.0	△ 1.3	△ 3.9	7.1	(28)	
0.1	0.2	0.2	0.5	0.1	△ 1.1	(29)	
△ 0.2	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.6	△ 3.9	6.0	(30)	
△ 0.4	△ 0.7	△ 0.8	△ 1.1	△ 6.0	9.0	(31)	
0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	△ 0.8	(32)	
0.2	0.1	0.2	△ 0.1	1.2	△ 1.6	(33)	
0.1	0.4	△ 0.1	0.3	0.2	△ 0.9	(34)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 1.2	1.5	(35)	
0.0	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.9	△ 3.4	5.0	(36)	
△ 0.1	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.2	△ 2.4	3.5	(37)	
△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	0.0	△ 0.9	1.7	(38)	
△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 3.4	4.6	(39)	
0.1	0.0	0.3	0.5	1.0	△ 1.9	(40)	
0.1	0.0	0.1	0.3	△ 0.3	△ 0.2	(41)	
0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.2	△ 3.1	3.8	(42)	
0.1	0.1	0.0	0.1	△ 2.1	1.8	(43)	
△ 0.2	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.7	△ 4.4	6.4	(44)	
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.8	△ 3.2	5.1	(45)	
0.1	0.4	0.0	0.6	1.1	△ 2.2	(46)	
0.6	1.2	1.1	1.9	2.9	△ 7.7	(47)	
0.2	0.8	0.3	0.8	1.5	△ 3.6	(48)	
△ 0.2	△ 0.5	△ 0.7	△ 1.3	△ 3.2	5.9	(49)	
△ 0.1	0.2	△ 0.5	△ 0.8	△ 4.6	5.8	(50)	
0.2	0.6	0.5	0.3	△ 1.1	△ 0.5	(51)	
△ 0.3	△ 0.1	△ 1.2	△ 1.5	△ 6.7	9.8	(52)	
0.2	0.4	0.6	0.5	0.6	△ 2.3	(53)	
0.0	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.1	(54)	
0.3	0.5	0.7	0.7	0.8	△ 3.0	(55)	
...	(56)	

3 対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

3 令和4年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量（10月25日現在）

単位：kg

全 国 都道府県						
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	537	532	524	514	498	418
北 海 道	591	587	581	574	563	501
青 森	594	590	584	577	567	505
岩 手	537	533	526	519	508	441
宮 城	537	534	528	521	511	434
秋 田	554	549	541	532	517	435
山 形	594	590	583	575	560	466
福 島	549	546	539	530	513	435
茨 城	532	527	519	509	489	388
栃 木	532	525	514	497	473	330
群 馬
埼 玉	498	492	484	470	449	328
千 葉	544	540	535	527	513	437
東 京	421	418	412	402	387	293
神 奈 川	501	494	481	467	445	323
新 潟	544	539	533	525	510	441
富 山	556	552	545	536	523	449
石 川	532	528	522	515	502	435
福 井	515	510	504	496	481	404
山 梨	532	527	518	509	493	415
長 野	608	603	596	589	576	502
岐 阜
静 岡	509	506	501	494	483	426
愛 知	505	501	495	488	477	440
三 重	511	506	498	489	478	438
滋 賀	523	518	511	501	487	429
京 都	514	510	505	497	484	429
大 阪	503	498	489	475	457	377
兵 庫	513	508	498	487	470	390
奈 良	522	518	512	502	488	425
和 歌 山	519	516	511	504	496	456
鳥 取	514	510	502	494	482	422
島 根	519	514	507	496	485	415
岡 山	526	520	510	496	477	392
広 島	530	526	519	511	500	439
山 口	526	521	512	502	487	418
徳 島	480	476	469	460	448	391
早期栽培	473	469	463	455	444	386
普通栽培	485	481	473	463	451	394
香 川	511	504	493	476	454	341
愛 媛	524	517	505	489	466	367
高 知	460	455	447	438	426	372
早期栽培	488	483	476	468	455	402
普通栽培	425	420	412	402	388	334
福 岡	491	485	471	456	436	340
佐 賀	514	506	493	479	455	350
長 崎	470	461	442	421	384	252
熊 本	501	493	477	461	435	319
大 分	493	485	469	450	422	299
宮 崎	488	484	474	462	445	362
早期栽培	502	498	490	481	469	403
普通栽培	480	475	465	451	432	337
鹿 児 島	478	472	460	443	421	316
早期栽培	465	461	453	442	426	332
普通栽培	482	475	463	443	419	312
沖 縄

注：ふるい目幅別10a当たり収量とは、都道府県の10a当たり予想収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

4 令和4年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）（10月25日現在）

単位：t

全 国 都道府県						
	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	7,270,000	7,205,000	7,096,000	6,957,000	6,747,000	5,663,000
北 海 道	553,200	549,300	543,800	537,200	526,600	469,100
青 森	235,200	233,800	231,400	228,400	224,400	200,200
岩 手	247,600	245,600	242,600	239,200	234,200	203,500
宮 城	326,500	324,900	321,300	317,000	310,500	264,100
秋 田	456,500	452,400	446,000	438,700	425,900	358,400
山 形	365,300	363,100	358,700	353,600	344,100	286,800
福 島	317,300	315,700	311,600	306,200	296,700	251,600
茨 城	319,200	316,000	311,500	305,500	293,300	232,700
栃 木	270,300	266,800	261,400	252,700	240,600	167,600
群 馬
埼 玉	142,400	140,700	138,300	134,400	128,400	93,800
千 葉	259,500	257,700	255,100	251,500	244,700	208,400
東 京	484	480	474	462	445	337
神 奈 川	14,400	14,200	13,800	13,400	12,800	9,290
新 潟	631,000	625,300	617,700	608,900	591,900	511,700
富 山	197,400	195,800	193,500	190,300	185,600	159,500
石 川	122,900	122,000	120,700	119,000	116,000	100,400
福 井	121,000	119,900	118,300	116,500	113,000	95,000
山 梨	25,500	25,200	24,800	24,400	23,600	19,900
長 野	187,300	185,800	183,600	181,300	177,400	154,700
岐 阜
静 岡	76,400	75,900	75,200	74,200	72,400	63,900
愛 知	130,800	129,800	128,200	126,400	123,600	114,100
三 重	130,800	129,500	127,500	125,000	122,300	112,200
滋 賀	151,700	150,300	148,200	145,300	141,200	124,400
京 都	72,000	71,500	70,700	69,600	67,800	60,100
大 阪	22,800	22,600	22,200	21,500	20,700	17,100
兵 庫	177,000	175,200	171,900	168,200	162,100	134,700
奈 良	43,900	43,600	43,100	42,200	41,000	35,700
和 歌 山	31,000	30,800	30,500	30,100	29,600	27,200
鳥 取	62,200	61,700	60,800	59,800	58,300	51,100
島 根	85,100	84,300	83,100	81,400	79,600	68,000
岡 山	147,800	146,200	143,200	139,400	134,100	110,300
広 島	114,500	113,700	112,200	110,400	108,000	94,800
山 口	92,600	91,700	90,200	88,300	85,700	73,500
徳 島	47,600	47,200	46,500	45,600	44,400	38,700
早期栽培	17,900	17,800	17,500	17,200	16,800	14,600
普通栽培	29,700	29,400	29,000	28,400	27,600	24,100
香 川	55,700	54,900	53,800	51,900	49,500	37,200
愛 媛	68,600	67,600	66,100	64,100	61,000	48,000
高 知	49,700	49,200	48,300	47,400	46,000	40,200
早期栽培	29,300	29,000	28,600	28,100	27,300	24,100
普通栽培	20,200	20,000	19,600	19,100	18,500	15,900
福 岡	164,000	161,900	157,300	152,200	145,500	113,700
佐 賀	117,200	115,400	112,400	109,100	103,800	79,800
長 崎	48,900	47,900	46,000	43,800	40,000	26,300
熊 本	156,800	154,400	149,400	144,400	136,100	99,700
大 分	93,200	91,600	88,700	85,100	79,700	56,500
宮 崎	75,200	74,500	73,000	71,100	68,600	55,700
早期栽培	28,800	28,600	28,100	27,600	26,900	23,100
普通栽培	46,200	45,700	44,700	43,400	41,500	32,500
鹿 児 島	86,000	84,900	82,800	79,600	75,700	56,900
早期栽培	19,800	19,600	19,300	18,800	18,100	14,100
普通栽培	66,500	65,600	63,800	61,200	57,900	43,100
沖 縄

注：ふるい目幅別収穫量(子実用)とは、都道府県別の予想収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和4年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（10月25日現在）

単位：%

全 国 都道府県	計	100kg未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg以上
全 国	100.0	0.1	0.3	1.3	5.2	22.5	45.3	22.0	3.2	0.1
北 海 道	100.0	0.2	-	0.2	1.5	9.8	38.5	41.8	8.0	-
青 森	100.0	-	-	1.8	3.0	7.0	29.8	46.6	11.2	0.6
岩 手	100.0	-	0.9	0.3	5.0	22.6	44.5	23.5	3.2	-
宮 城	100.0	-	-	0.9	3.6	13.9	59.8	21.2	0.6	-
秋 田	100.0	-	0.3	0.6	1.9	12.2	51.0	33.1	0.9	-
山 形	100.0	-	-	0.6	1.3	9.4	32.5	42.1	13.8	0.3
福 島	100.0	-	-	0.7	2.0	19.1	49.5	22.9	5.8	-
茨 城	100.0	-	-	0.4	1.8	21.1	60.6	15.0	1.1	-
栃 木	100.0	-	-	-	3.9	19.4	57.4	18.6	0.7	-
群 馬
埼 玉	100.0	-	1.1	1.7	5.0	36.1	42.7	11.7	1.7	-
千 葉	100.0	-	-	0.4	2.3	18.1	47.6	30.8	0.8	-
東 京
神 奈 川	100.0	-	-	-	6.7	31.7	51.6	10.0	-	-
新 潟	100.0	0.2	0.2	0.5	2.0	19.3	51.4	23.9	2.5	-
富 山	100.0	-	0.5	0.5	4.1	8.2	52.2	34.5	-	-
石 川	100.0	-	-	2.3	3.7	22.4	48.3	21.9	1.4	-
福 井	100.0	-	-	0.4	7.4	24.8	53.9	13.5	-	-
山 梨	100.0	-	-	-	11.3	22.5	41.1	16.3	8.8	-
長 野	100.0	-	0.4	-	4.0	8.4	25.2	38.6	20.1	3.3
岐 阜
静 岡	100.0	-	0.6	2.5	5.6	23.1	52.6	15.6	-	-
愛 知	100.0	-	1.0	1.0	2.9	30.5	56.5	8.1	-	-
三 重	100.0	-	-	0.9	7.4	26.6	47.6	17.5	-	-
滋 賀	100.0	0.5	0.5	1.4	7.6	20.0	42.8	22.9	4.3	-
京 都	100.0	-	0.7	1.4	7.1	28.6	43.6	18.6	-	-
大 阪	100.0	-	-	-	2.0	26.0	72.0	-	-	-
兵 庫	100.0	-	-	3.0	8.3	26.5	40.5	19.1	2.6	-
奈 良	100.0	-	-	1.0	6.0	31.0	40.0	20.0	2.0	-
和 歌 山	100.0	-	1.0	2.0	6.0	19.0	53.0	18.0	1.0	-
鳥 取	100.0	-	-	3.3	8.7	25.3	41.4	20.0	1.3	-
島 根	100.0	0.5	0.5	3.1	6.2	22.1	41.9	22.6	3.1	-
岡 山	100.0	-	0.5	1.4	5.9	23.1	47.7	18.6	2.3	0.5
広 島	100.0	0.5	0.5	1.8	6.4	20.9	39.5	25.9	4.5	-
山 口	100.0	0.6	1.1	1.1	3.9	18.3	50.5	22.8	1.7	-
徳 島	100.0	-	0.7	3.3	11.3	38.7	35.3	10.0	0.7	-
香 川	100.0	0.7	-	2.0	6.7	25.3	49.3	13.3	2.0	0.7
愛 媛	100.0	-	-	2.0	4.0	29.3	45.4	16.0	3.3	-
高 知	100.0	-	0.6	5.6	16.3	39.3	31.3	6.9	-	-
福 岡	100.0	-	0.4	1.9	5.8	36.9	47.7	7.3	-	-
佐 賀	100.0	-	1.0	2.4	3.8	27.6	45.6	18.6	1.0	-
長 崎	100.0	-	0.7	1.3	16.1	37.6	38.9	5.4	-	-
熊 本	100.0	2.2	-	2.2	5.8	30.6	45.6	12.9	0.7	-
大 分	100.0	-	0.5	2.7	6.0	34.1	46.3	10.4	-	-
宮 崎	100.0	-	0.5	2.4	8.1	34.4	45.0	9.1	0.5	-
鹿 児 島	100.0	-	0.5	2.0	11.6	42.2	35.2	8.5	-	-
沖 縄

注：1 10月25日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、次回公表において数値が変動することがある。

2 東京都及び沖縄県については、作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

6 令和4年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数		
北海道 (106)	石狩	107	埼玉県 (101)	東部	101		
	南空知	105		西部	101		
	北空知	106		千葉県 (100)	京葉	99	
	上川	107			十九里	100	
	留萌	108			南房総	102	
	渡島・檜山	103			東京都 (102)	-	102
	後志	104		神奈川県 (101)		-	101
	胆振・日高	105				新潟県 (99)	下越
オホーツク・十勝	104	中越	100				
青森 (99)	青森	101	上越		102		
	津軽	97	佐渡	101			
	南部・下北	101	富山 (101)	-	101		
	岩手 (99)	北上川上流		99	石川 (101)	加賀	101
北上川下流		99		能登		101	
東部		99		福井 (99)		嶺北	99
北部		99	嶺南			100	
宮城 (100)	南部	101	山梨 (97)		-	97	
	中部	100			長野 (98)	東信	97
	北東部	99		南信		98	
	東部	100		中信		99	
秋田 (95)	県北	94	岐阜 (100)	北信		98	
	県中	94		西南濃	102		
	県南	97		中濃	101		
山形 (99)	村山	100		東濃	96		
	最上	98	飛騨	97			
	置賜	97	静岡県 (98)	-	98		
	庄内	99		愛知県 (100)	尾張	99	
福島 (100)	中通り	100			西河	100	
	浜通り	100			東河	100	
	会津	99	栃木 (97)		群馬 (101)	中部	北部
茨城 (101)	鹿行	101		中部			96
	西部	101		南部			97
栃木 (97)	北部	96		群馬 (101)			中部
	中部	96	南部		100		
	南部	100	群馬 (101)		中部	100	
群馬 (101)	中部	100		北部	101		
	北部	101		東部	101		
	群馬 (101)	東部	101				

注：作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。北海道、茨城県、新潟県、静岡県については、令和4年産より作柄表示地帯を再編した。

6 令和4年産水稻の作柄表示地帯別作況指数（10月25日現在）（続き）

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
三重 (102)	北勢	102	高知 (100)	中東部	100	
	中勢	103		西部	100	
	南勢	102		福岡 (100)	福岡部	100
	伊賀	102			北東部	102
滋賀 (101)	湖南	101	筑後	98		
	湖北	101	佐賀 (98)	佐賀浦	98	
京都 (101)	南部	101		長崎 (95)	南部	95
	北部	101	熊本 (96)	北部	97	
大阪 (102)	-	102	五島	93		
	兵庫 (102)	県南	103	壱岐・対馬	90	
県北		101	大分 (99)	北部	96	
淡路		101		湾岸	98	
奈良 (102)	-	102	南部	102		
	和歌山 (105)	-	105	日田	100	
鳥取 (100)		東部	101	宮崎 (98)	広域沿海	101
		西部	99		広域霧島	95
島根 (101)	出雲	100	西北山間		93	
	石見	102	鹿児島 (98)	薩摩半島	98	
岡山 (99)	南部	98		出水薩摩	98	
	中北部	101		伊佐始良	96	
広島 (101)	南部	101		大隅半島	101	
	北部	100	熊毛・大島	96		
山口 (105)	東部	105	沖縄 (96)	沖縄諸島	97	
	西部	104		八重山	96	
	長北	105				
徳島 (102)	北部	102				
	南部	102				
香川 (103)	-	103				
愛媛 (104)	東予	104				
	中予	104				
	南予	107				

注：徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。

また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県の作況指数の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

7 令和4年産水稻の刈取期及び刈取済面積割合（10月25日現在）

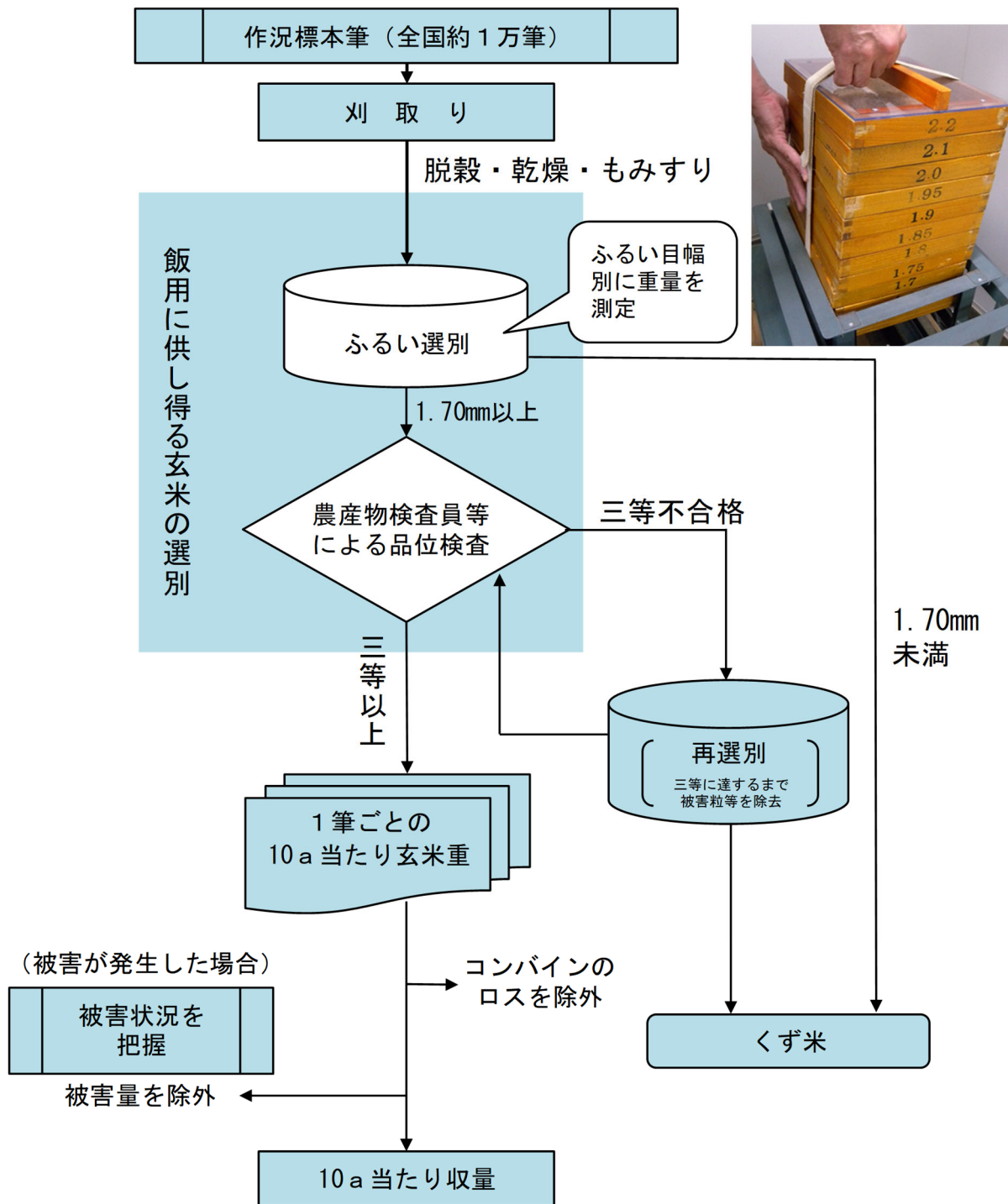
全 国 都道府県	刈 取 期						刈取済 面積 割合
	始 期	最盛期	終 期	最盛期の比較			
				対平年差	対前年差		
月 日	月 日	月 日	…	…	…	%	
全 国	…	…	…	…	…	…	97
北 海 道	9. 16	9. 27	10. 6	2日早	5日遅		100
青 森	9. 21	10. 3	10. 15	並み	5日遅		100
岩 手	9. 25	10. 5	10. 24	並み	6日遅		98
宮 城	9. 20	10. 1	10. 15	並み	3日遅		100
秋 田	9. 21	10. 2	10. 18	並み	6日遅		99
山 形	9. 20	10. 2	10. 13	並み	3日遅		99
福 島	9. 28	10. 10	…	並み	2日遅		94
茨 城	8. 28	9. 15	9. 28	2日遅	2日遅		100
栃 木	9. 12	9. 23	10. 17	並み	1日早		98
群 馬	9. 22	10. 22	…	並み	1日早		59
埼 玉	8. 28	9. 27	…	2日遅	1日早		93
千 葉	8. 20	9. 2	9. 19	1日早	並み		100
東 京	9. 17	10. 3	10. 19	2日早	1日早		96
神 奈 川	9. 11	9. 30	10. 22	1日早	1日遅		97
新 潟	9. 5	9. 20	10. 6	並み	2日遅		100
富 山	8. 22	9. 15	10. 1	並み	並み		100
石 川	8. 23	9. 10	9. 29	1日早	1日早		100
福 井	8. 19	9. 11	9. 29	並み	1日早		100
山 梨	9. 12	10. 3	…	並み	2日早		90
長 野	9. 13	9. 29	10. 15	1日早	2日早		99
岐 阜	9. 3	10. 3	10. 22	並み	並み		96
静 岡	8. 29	9. 22	…	1日遅	並み		94
愛 知	8. 29	10. 8	…	2日遅	並み		79
三 重	8. 20	9. 4	9. 24	1日遅	1日遅		100
滋 賀	8. 31	9. 14	10. 3	1日早	1日早		100
京 都	9. 3	9. 22	10. 16	3日早	1日早		97
大 阪	9. 11	10. 11	10. 22	1日早	並み		99
兵 庫	9. 4	9. 27	10. 22	3日早	1日早		96
奈 良	9. 7	10. 14	…	並み	並み		94
和 歌 山	8. 24	9. 20	10. 11	1日遅	並み		100
鳥 取	9. 11	9. 29	10. 15	1日遅	2日早		99
島 根	8. 31	9. 18	10. 16	1日早	2日早		99
岡 山	9. 9	10. 10	…	1日遅	並み		73
広 島	8. 28	9. 25	10. 19	1日早	1日早		98
山 口	8. 30	9. 22	10. 16	1日早	2日早		99
徳 島 早期栽培	8. 10	8. 22	9. 4	2日早	8日早		100
普通栽培	8. 22	9. 9	10. 8	1日早	3日早		99
香 川	8. 23	10. 2	10. 18	並み	1日早		100
愛 媛	8. 19	9. 20	10. 19	4日早	5日早		98
高 知 早期栽培	8. 1	8. 7	8. 21	1日早	並み		100
普通栽培	9. 14	10. 2	10. 13	3日早	並み		98
福 岡	9. 4	9. 30	10. 20	3日早	2日早		96
佐 賀	9. 11	10. 9	…	1日早	並み		89
長 崎	8. 22	10. 10	10. 24	2日早	並み		98
熊 本	8. 13	10. 8	…	2日早	並み		93
大 分	9. 15	10. 14	…	3日早	3日早		89
宮 崎 早期栽培	7. 23	7. 30	8. 8	2日早	3日早		100
普通栽培	9. 28	10. 14	…	1日遅	並み		88
鹿 児 島 早期栽培	7. 26	8. 4	8. 19	2日早	1日早		100
普通栽培	10. 2	10. 15	…	3日早	1日早		82
沖 縄 第一期稲	6. 11	6. 27	7. 22	4日遅	5日遅		100
第二期稲	…	…	…	…	…		-

注：1 刈取期の始期、最盛期、終期とは、刈取済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
 2 全国の「…」は事実不詳、都道府県の「…」は10月25日現在において、その期日に達していないことを示す。

【参考 1】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

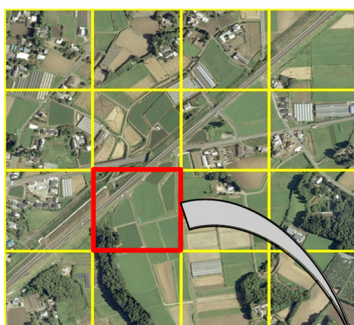


【参考2】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約1万筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



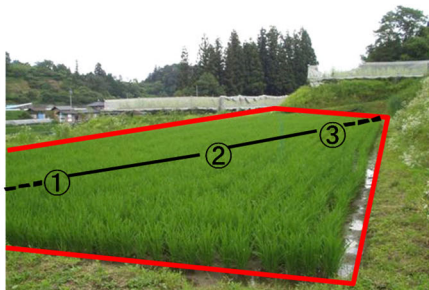
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び予想収穫量調査として実施したものであり、水稻の作付面積、作柄状況・予想収穫量等を明らかにすることにより、米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証、経営所得安定対策の交付金算定、農作物共済事業の適切な運営等のための農政の基礎資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

本調査は、全国の各都道府県を対象に実施している。

(2) 調査対象の選定

ア 作付面積調査

水稻の栽培に供された全ての耕地

イ 予想収穫量調査

水稻が栽培されている耕地

(3) 調査対象数

ア 作付面積調査

標本単位区：39,411単位区

イ 予想収穫量調査

作況標本筆：9,902筆、作況基準筆：222筆

3 調査事項

水稻の作付面積、10a当たり予想収量、予想収穫量、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況等

4 調査期日

(1) 作付面積調査：令和4年7月15日現在

(2) 予想収穫量調査：令和4年10月25日現在

5 調査・集計方法

(1) 作付面積調査

ア 母集団の編成

空中写真（衛星画像等）に基づき、全国の全ての土地を隙間なく区分した200m四方（北海道にあっては、400m四方）の格子状の区画のうち、耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区の集まりを母集団としている。

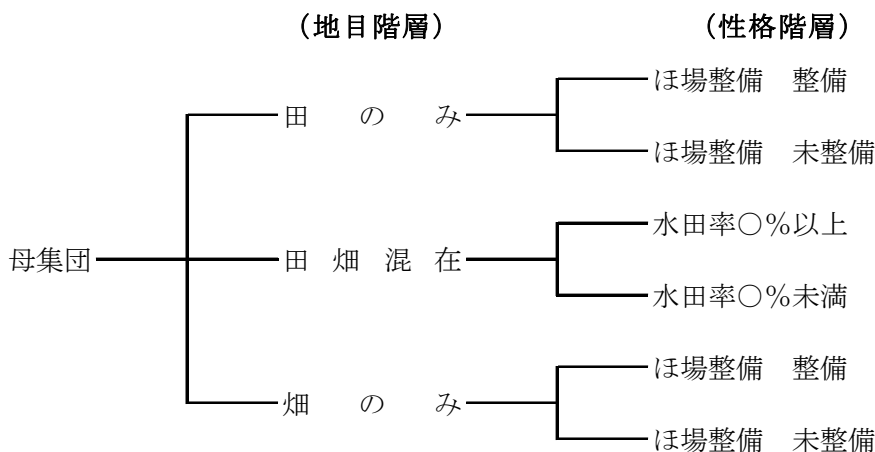
なお、単位区については、区画内に存する耕地について筆ポリゴン（衛星画像等を基に面積調査用の地理情報システムにより筆（けい畔等で区切られた現況一枚のほ場）ごとの形状に沿って作成した面をいう。）を作成し、地目（田又は畑）等の情報を登録している（後述の台帳面積に相当）。

母集団は、ほ場整備、宅地への転用等により生じた現況の変化を反映するため、単位区の情報を補正することにより整備している。

イ 階層分け

調査精度の向上を図るため、母集団を各単位区内の耕地の地目に基づいて地目階層（「田のみ階層」、「田畑混在階層」及び「畑のみ階層」）に分類し、そのそれぞれの地目階層について、ほ場整備の状況、水田率等の指標に基づいて設定した性格の類似した階層（性格階層）に分類している。

階層分け模式図（例）



ウ 調査対象数の算出

都道府県別の調査対象数は、耕地の田畑別面積又は水稻作付面積を指標とした全国の目標精度（田：0.16%、畑：0.50%、水稻：0.22%）が確保されるように設定した都道府県別の目標精度（田：おおむね0.5～2%程度、畑：おおむね1～5%程度、水稻：おおむね0.5～3%程度）に基づき算出する。

エ 調査対象数の配分及び抽出

ウにより算出した調査対象数を、都道府県別の地目階層別に、総単位区数に耕地の田畑別面積又は水稻作付面積の母標準偏差を乗じた結果に比例して配分し、次いで、地目階層別の調査対象数を、性格階層別に当該性格階層の総単位区数に比例して配分の上、系統抽出法により抽出する。

オ 実査（対地標本実測調査）

抽出した標本単位区内の水稻が作付けされている全ての筆について、職員又は統計調査員により1筆ごとに現況地目、耕地の境界及び作付けの状況を確認する。

カ 推定

水稻作付面積の推定においては、都道府県別に面積調査用の地理情報システムを使用して求積した「標本単位区の田台帳面積の合計」に対する「実査により得られた標本単位区の現況の水稻作付見積り面積の合計」の比率を「母集団（全単位区）の田の台帳面積の合計」に乘じ、これに台帳補正率（田台帳面積に対する実面積の比率）を乗じることにより、全体の面積を推定し、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

$$\text{推定面積} = \frac{\text{標本単位区の現況水稻作付見積り面積合計}}{\text{標本単位区の田台帳面積合計}} \times \text{全単位区の田台帳面積合計} \times \text{台帳補正率}$$

なお、全国計及び全国農業地域別の値は、都道府県別の値を合計して算出した。

キ その他

遠隔地、離島、市街地等の対地標本実測調査が非効率な地域については、職員による巡回・見積り、情報収集によって把握している。

(2) 予想収穫量調査

ア 母集団

(1)のイにより、「田のみ階層」及び「田畑混在階層」の地目階層に分類される単位区を母集団としている。

イ 階層分け

都道府県別に地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

ウ 調査対象数の算出

都道府県別の調査対象数は、全国の目標精度（0.3%）が確保されるように設定した都道府県別の目標精度（1～2%）に基づき算出する。

エ 調査対象数の配分及び抽出

都道府県別の調査対象数を階層別に水稻の作付面積に10 a 当たり収量の標準偏差を乗じた結果に比例して配分する。

階層別に配分された調査対象数を単位区の水稲作付面積（田台帳面積）に比例した確率で抽出する確率比例抽出法により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稻が作付けされている筆から1筆を無作為に選定し、作況標本筆（実測調査を行う筆）とする。

オ 作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の3か所を系統抽出法により調査箇所を選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

カ 10 a 当たり玄米重の算定

各作況標本筆について、一定株数（1 m²分×3か所の株数）の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程（平成13年2月28日農林水産省告示第244号）に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70mm以上であるもの）となるように選別し、各作況標本筆の10 a 当たり玄米重を決定する。

ただし、調査期日に収穫期を迎えていない作況標本筆がある場合は、穂数、1穂当たりもみ数及び千もみ当たり収量のうち実測可能な項目については実測値、実測が不可能な項目については過去の気象データ、実測データ等を基に作成した予測式により算定した推定値を用いることとし、これらの数値の積により当該作況標本筆に係る10 a 当たり玄米重を算定する。

各作況標本筆の10 a 当たり玄米重の平均を基に階層ごとの10 a 当たり玄米重を推定し、水稻作付面積で加重平均することにより都道府県別の10 a 当たり玄米重平均値を算出する。

キ 10 a 当たり収量の推定

カにより算出した都道府県別の10 a 当たり玄米重平均値に、コンバインのロス率（コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス）や被害データ等を加味して検討を行い、都道府県別の10 a 当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆（10 a 当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の

基準とするものとして有意に選定した筆をいう。)の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

ク 収穫量及び被害量

キにより推定した10a当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回・見積りで把握する。

6 実績精度

作付面積調査の対地標本実測調査における水稻作付面積に係る調査結果(全国)の実績精度を標準誤差率(標本誤差の推定値÷推定値×100)により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率 (%)
水稻作付面積	0.35

7 全国農業地域の表章区分

掲載した統計の全国農業地域の区分とその範囲は、次表のとおりである。

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの(WCS用稲、わら専用稲等を含む。)のほか、飼料用米等を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

令和4年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅							
都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅
北海道	1.90mm	東京	1.80mm	滋賀	1.90mm	香川	1.80mm
青森	1.90mm	神奈川	1.80mm	京都	1.85mm	愛媛	1.85mm
岩手	1.90mm	新潟	1.85mm	大阪	1.80mm	高知	1.80mm
宮城	1.90mm	富山	1.90mm	兵庫	1.85mm	福岡	1.85mm
秋田	1.90mm	石川	1.85mm	奈良	1.80mm	佐賀	1.85mm
山形	1.90mm	福井	1.90mm	和歌山	1.80mm	長崎	1.80mm
福島	1.85mm	山梨	1.80mm	鳥取	1.85mm	熊本	1.85mm
茨城	1.85mm	長野	1.85mm	島根	1.90mm	大分	1.80mm
栃木	1.85mm	岐阜	1.80mm	岡山	1.85mm	宮崎	1.80mm
群馬	1.80mm	静岡	1.80mm	広島	1.85mm	鹿児島	1.80mm
埼玉	1.80mm	愛知	1.85mm	山口	1.85mm	沖縄	1.80mm
千葉	1.80mm	三重	1.85mm	徳島	1.80mm		

また、作柄の良否としての表示区分は以下の通りである。

作柄の良否	不良	やや不良	平年並み	やや良	良
作況指数	94以下	95～98	99～101	102～105	106以上

- (3) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 その他

- (1) この資料のうち、作付面積は、概数値である。
 確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和5年2月予定）するとともに、その後発行する「令和4年耕地及び作付面積統計」に掲載する。
 なお、確定した詳細な数値をホームページに掲載した後の正誤情報は、ホームページでお知らせする。
- (2) 本調査（10月25日現在）は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
 なお、本調査についての確定値は、「令和4年産水陸稲の収穫量」として令和4年12月上旬に公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y4 】

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・ 作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3681

（直通）03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

- ・ 予想収穫量に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>